

千八百七十八年九月十六日刊行横濱全マツパンカセツト新聞抄譯

大藏省
翻譯録

日本歳入出豫算論

4158



414
A1414



千八百七十八年九月十六日刊行横濱子ヤッパン、カゼツト
新聞社説譯

日本歳入出豫算論

昔輩、前号ニ於テ既ニ日本國債ノ一ニ付キ長文ヲ登錄シテ讀
者ノ閱覽ニ供セシカ故ニ若シ流通紙幣ノ現額如何ヲ知ルヘキ
証拠、無キヲ莫セハ大ニ讀者ノ為メニ有益緊要ノモノタリ
シナラン蓋シ此流通紙幣ノ現額不定ノ一事ハ快カラスモ其反
射ヲ輒述發行セル歳入出豫算表ノ全面ニ及ホセリ
若シ夫レ流通紙幣ノ現額ヲ精細ニ明知スルヲ得タランニハ
日本ノ今日ニ於ケル実況ヲ辨明レ得ベシ
若シ日本政府ノ欲スル所ハ主トシテ其國ノ人民ヲ満足セシメ
且ツ海外諸國ニ於テ其國信ヲ隆サ、ラントスルニアラハ宜シ
ク良策ヲ回ラシテ以テ目今流通セル無数ノ金札ヲ引上ケ更ニ

大正十一年四月
見取録
大正十一年四月
見取録

大正十一年四月

新製一定限アルノ紙幣ヲ發行シテ以テ之レト交換スルニアル
ナリ
然ルニ多少ノ故障防碍アリテ為ノニ斯ノ如キ所置ヲ決行スル
ニ難キヲ覺ヘシ然レモ是レ唯一時ノ困難ヲ醸ス迄ノ事ニシテ
敢テ忍ルニ足ラサルモノナリ
果シテ斯ル所置ヲ行フハ大藏卿々日本帝國ニ流通セル紙幣
ノ全額ヲ精細ニ知ルニ至ルハ大約一ケ年以内ニアルベキナリ
斯ノ如クニシテ一回流通ノ全額ヲ精細ニ明知スル所トナル上
ハ其償還ノ方法以テ能ク建ツヘシ實ニ目今ノ如キニ於テハ流
通ノ額不分明ナルヨリシテ其償還ノ算如何ヲ定ムルニ由ナキ
ナリ
大藏卿大隈公閣下ハ痛ク國債ノ増加ヲ憂ヒ實ニ焦心苦慮ノ情
蔽フベカラサルノ色アリ公ハ現行ノ國債償還法ヲ廢シ更ニ償

還ノ方策ヲ設ケ毎年歳入ノ中ヨリ貳千万円ヲ割キ之レヲ國債
償還ニ充テ本年ヨリ始メテ二十八ヶ年間に悉皆償還シ了ルノ
見込ナリト云ヘリ
國債償還ノ為ノ既ニ定メ置キタル金額利子尙千五百九拾二万
七千二百二拾五ドルラ此元金五百二拾七万七千八百三拾五
ドルラ元利合セテ二千百拾九万九千五拾六ドルラノ多キア
ルモ利子ノ割合ヲ平均四分二五五ト見積ルキハ如何ナル償却
法ヲ設ケルモ國債ヲ償還スルニ足ラスサバトテ今日ノ如ク
五千三百二拾七万五千ドルラ此ノ歳入中ヨリ此二千五ドルラ
ルヲ引去ルトキハ其残餘ヲ以テ國家無事ノ日ニ於ケル現實ノ
費途ニ供セントスルモ足ラサルノ恐レアルヘシ
然ルニ今ヤ諸般ノ費途ヲ極度ニ節減セシモノト見ヘ大ニ諸
官廳ノ經費ヲ減省セリ爰ニ於テカ思慮考察スヘキハ事ノ緩急

得失如何ヲ量リ尚ホ若干ノ減額ヲ爲シ得ルヤ否ヤノ一問ニアル而已

吾輩カ必ラスサエアラント信スルカ如ク此問ニ答フルニ不業知ヲ以テセハ尔他何等ノ國費節減法アリテ全國歳入ノ五分ノ二夫ケノ巨金ヲ歳入中ヨリ割キ取ルヲ保証スルニ足リ以テ能ク充分ノ資本ヲ豫備スルノ道アル乎是迄數年間日本ノ爲メニ非常ノ憂患ヲ醸セシ原因トナリタル暴亂ノ如キモノ又再發セシモ量リ難ク一朝鹿兒島暴動ノ如キ猛烈ノ暴發アルニ於テハ更ニ莫大ノ費用ヲ生シ國帑益々靡敝ヲ告ケ其費用ヲ償却スルニハ少ナクモ三ヶ年ヲ要スルニ至ラン
扱テ又飢饉火災其他諸般ノ國難ヲ醸生シ爲メニ國家ノ靡敝ヲ来スアラシメテ推想スルハ國債三億七千五百万ドルラレド多キヲ二十ハヶ年間ニ償還シ了ルヲ豫期シ難キニ似タリ又實ニ

二十八年以内ニ是非償却セサルベカラサル事情モ之レアラサルベシ

夫レ目今ノ歳入中ヨリ國債ヲ償還スルトト歳入増加ノトトヲ以テ同一視スヘカラス前者ハ後者ノ増加ヲ待ツテ初メテ成ルカ故ニ後者ノ貴重ナル前者ノ比ニアラス蓋シ國債償還ノ如キハ若シ歳入ヲ増加スルトヲ得ルニ於テハ処分ノ法一層容易ナラン然リ而シテ凡ソ人民タル者歳入ヲ増加スルハ則チ人民ノ幸福繁栄ヲ増シ又人民ノ共力同心以テ事ヲ興スヲ助ケ且ツ國家ノ爲メニ誠志ヲ尽クスモノタルヲ了解スルニ至ルヤ一日下大藏卿カ痛心スル所ノ憂患ヲ除去スルニ足ラン
何分統計學ノ設ケ之レナキカ故ニ此國債ノトニ付テモ唯漸ク緊論ヲ述ルマテニシテ精細ノ論辨ヲナスアタハス
地租ノ多キ其収額全國歳入中五分ノ四ニ居リ地價貳分五厘ノ

割合ヲ以テ収入スルモノナリ

嚮キニ地租ハ地價三分ヲ納ムルノ制規ナリシカ聖詔ノ出ツル
アリテ二分五厘ニ減少セリ而シテ三分ノ制ニ改マルノ以前ハ
地方ニ依リテハ或ハ拾分ノ四ヲ賦シ或ハ拾分ノ六ヲ課セシ所
アリテ平均上り高ノ半ハヲ納メタリ

斯ノ如ク追々地租減少シテ地價貳分五厘ニ至リタル所ニ就テ
之レヲ觀ルニ毎年ノ生産高ハ大約九千万円ナリ此内少ナクモ
五分ノ四(割合)大キク積ラステハ日本國內ニテ消費スル所
ニ係ル

今ヤ輸出貿易ヲ掣肘セラルトナクハ為メニ日本人民ク其奮
發勉勵ヲ以テ之レヨリ生スル利益ヲ得ヘキ所以ヲ明示スルハ
吾輩新聞記者ノ好シテ自ワカラ任スル所ナリ依テ左ニ之レヲ
述ヘン

若シ今日日本帝國ニ於ケル貿易ノ状況ヲシテ能ク農氏社會ニ
奨励ヲ加フルノ勢カアリテ以テ其穀類ノ産出ヲ増加セシメ且
ツ其殘餘ノ穀類ヲ高價ニ販賣セシムルノアランニハ更ニ貿
易ノ一大戰場ヲ開クニ至ラン果シテ斯ノ如キニ至レハ生糸茶
ノ如キ目今相場ノ変動ヲ免レサルモノニ比スレハ實ニ霄壤ノ
差而已ナラス但シ殘餘ノ穀類ヲ販賣スルニハ自國ノ人ヲ以テ
其代理人トスルトモ或ヒハ自ツカラ其業ニ従事スルトモ其如
何ハ同ハス又買主ノ之レヲ購求スルヤ日本國內ノ消費ニ供ス
ル為メナルトモ或ヒハ又海外ノ市場ニ輸出スル為メナルトモ
其時ノ狀況ニ依リ其欲スル所ニ任ス主トスル所ハ唯之レヲ販
高ノ相場ニ販賣スルニアル而已果シテ貿易ノ一大戰場開ク
ニ於テハ是迄輸出入ノ不平均ヲ患ヒ金貨ノ輸出ヲ嘆シ哭声嘗
テ止ムトナカリシモノ最早雲散露消スベシ

且又諸制限ノ類ニシテ昔日日本ノ貿易進歩遅キ日ニ於テ至当
ナリシモノ等ヲ廢止スルアラハ貿易ノ全況一変スヘキナリ今
ヤ日本ノ商人ハ貿易ヲ獎勵増加シテ以テ新面目ヲ開クニ
汲々致セタリ
貿易擴張スルニ隨テ仮令モ毫モ政府ノ庇蔭ヲ仰カサルモ自然
道路溝渠鉄道其他商船等開設ノ聲アラシ
加之亦沿海ノ良港ニシテ日今荒蕪寂寥ノ地タリシモノ船舶輻
輳ノ海港トナルベシ斯ノ如クシテ忽チ日本ノ形況一変シ更ニ
新面目ヲ開クヘキナリ
且又目今地租ノ如キ現ニ赤貧民ハ不相應ノ重稅ヲ賦課スルモ
ノモ若干減少シテ殆ト此輩ノ堪ヘ難キ重擔トナルトモ止ムベ
シ夫レ此輩ノ如キハ實ニ其足ラサル收額ヲ以テ漸ク活路ヲ整
キ得ルノ貧民タルニ過キス

且又耕地増加スルニ隨テ其丈ケ歳入ノ増加ヲ来スヘク然ル上
一最早人民ハ租稅ヲ納ムルニ品物ヲモ以テセス又紙幣ヲモ以
テセスシテ其勤勞ヨリ生スル產物ヲ販賣シテ收入セシ正金ヲ
以テ之レヲ拂フニ至ルヘシ
以上吾輩ノ論スル所ハ毫モ虚妄ノ説ニアラス是レ實ニ真事ヲ
画キタル論ナリ又果シテ斯ノ如キニ至レハ高業ノ繁昌ニ至ル
ノミナラス自ツカラ國債減少ノ道モ一層宜シキヲ得ルニ至ラ
シ蓋シ目今ノ景況ニテハ仮ニ大藏卿ハ熱心以テ國債ノ減少ヲ
欲スルモ減少ノ色ナクシテ却テ増加ノ勢アレハ是迄ノ如ク漸
々増加シテ遂ニ大藏卿ノ理財總理ノ力ニ超スル程ニ至ルナラ
シ
夫レ日本ノ歳入出豫算表ヲ閱覽セントスルカ如キハ最モ愚ノ
極ニシテ實ニ無益ノ勤勞ナリ

今度大藏卿カ差出セシ歳入出豫算表ノ如キハ西南事変ノ經費ヲ尙モ載セスシテ世人ノ信ヲ置カサル豫算表ニ過キサル而已夫レ歳出幾許ニシテ歳入ヲ以テ能ク之レニ應スルニ足ルヤ否ヤヲ知ルハ日本人民ニ取リテ不用無益ノ事ナリ又豫算書中ニ列載スル所ノ算額如何ナルモ人民ニ取リ全ク不用ノ事ナリ其然ル所以ノモノハ他ナシ豫算書中登載スル所ノモノハ何レモ皆正當ナラサルモノニシテ信スルニ足ラサレハナリ試ミニ豫算表ヲ閱スルニ準備ノ金額ハ一ケ年ノ歳入ヨリモ巨多ナリ又嘗テ若干ノ残金アルヲ示セリ然ルニ今ハ全ク何レハカ消失シテ決シテ再ヒ表中ニ見ヘス又國債ノ増加スルモノ實ニ驚クヘク流通紙幣ノ巨額ナル真ニ怖ルヘシ

國家ノ災害既ニ斯ノ如キニ際シテ仮令ヒ國家ノ安寧幸福ヲ欲スルモ何ソ得ヘケンヤ

保護税論者ノ処置タル残忍ニ出テ貿易ヲ保護スルニアラスシテ其実却テ之レヲ壅塞スルカ故ニ今ヤ日本ノ貿易ハ益々衰頹凋萎ノ色ヲ現セリ

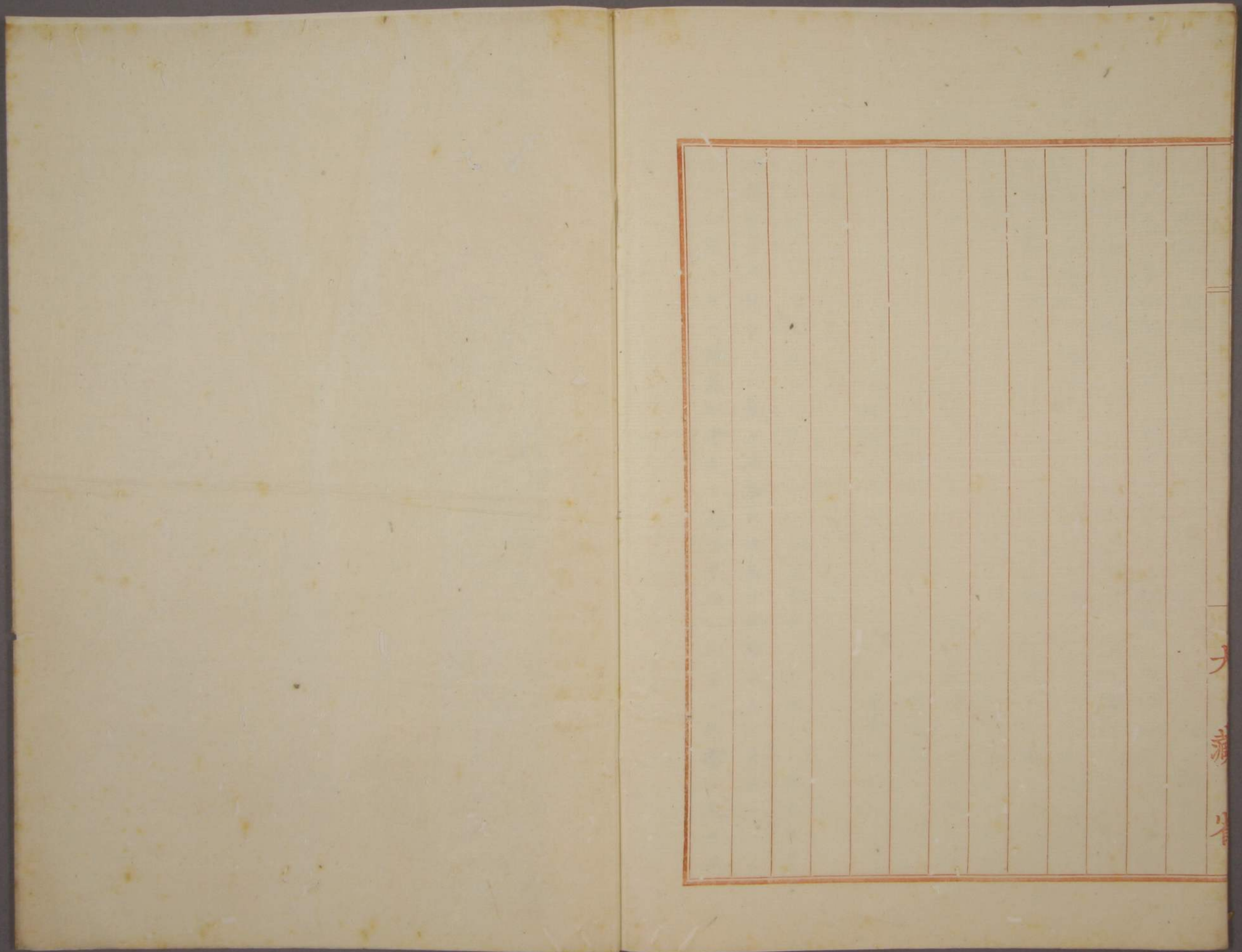
日本ノ如ク紙幣ノ増加甚シク且ツ尙ホ紙幣ヲ發行セシメシカ爲メ類リニ國立銀行ノ創立ヲ許スレ僅々六週間にアリテ創立ノ場所九店ニ及フカ如キ國ニ於テハ全貨陸續海外ニ流出スルヲ常トス

今度大藏卿ノ差出セシ歳入出豫算表ハ唯國債ノ増加ト歳入ノ減少ヲ示ス而已且ツ此度ノ豫算中ニハ諸臨時費ヲ一切算入セスシテ國債償還ニ充テルタメ不足ノ中ヨリ毎歳二千万圓ヲ割キ取ルノ行ハレサル所置ヲ設ケタリ

彼東京外ハムス新聞記者ハ大藏卿ヲ評シテ大隈公ノ如キハ國家ノ安危ニ関スル大事件ニ膺リ誠ニ能ク衆心ヲ安堵セシメ理

財ノ戰場ニ全勝ノ功ヲ奏セルモト云フヘシト迄ニ論及セリ
然レモ吾輩新聞記者ノ職守ハ事實ヲ齟齬セス公明誠実ノ言語
ヲ以テ論文ヲ綴ルニアルヲ故ニ大藏卿ハ海外諸國ニ示ス為メ
ト己レノ為メニ豫算表ヲ公布セシト云ハサルベカラズ
吾輩ハ東京外井ム以テ記者カ日本ノ會計ヲ妄信シテ喋々スル所
ノ謔語ヲ度外ニ措キテ唯一言ノ陳ヌヘキモアル而已云ク海
外ノ執政者財主輩其他ノ人々ニシテ日本ノ理財上ニ付苟モ関
係ヲ有スルモノハ屈指豫算表ヲ持手ヲ待テ此手閲讀初メテ其
豫期スル所ト大ニ齟齬スルモノアルヲ知り失望不満足ノ念
ヲ懷クヘシト
仮令如何ナル豫算表ヲ出ストモ歲出費中ノ最大ナル條款ヲ算
入列載セサルモノ、如キハ寧口何等ノ豫算表ヲモ差出サハル
方却テ宜シカラシ蓋シ今度ノ豫算表、如キハ恰モ雲ノ天ヲ蔽

フカ如クニシテ事實明了ナラサルカ故ニ仮令ニ將來ニ至ルモ
既往ノ実况現今ノ所置ヲ表示スルアタハサルナリ



天
藏
書

